

DIALOG(R)File 352:Derwent WPI
(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.
011305513 **Image available**
WPI Acc No: 1997-283418 199726
XRPX Acc No: N97-234678

Organic EL element with lamination body with opposed pair of electrodes - has organic luminescent material layer with organic compound located between opposed electrodes, it emits light by supplying electrons & holes to luminescent material layer

Patent Assignee: PIONEER ELECTRONIC CORP (PIOE); TOHOKU PIONEER ELECTRONIC CORP (PIOE); TOHOKU PIONEER KK (PIOE)

Inventor: KAWAMI S; NAITO T; NAKADA H

Number of Countries: 005 Number of Patents: 003

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
EP 776147	A1	19970528	EP 96118582	A	19961120	199726 B
JP 9148066.	A	19970606	JP 95306143	A	19951124	199733
US 5882761	A	19990316	US 96746977	A	19961119	199918

Priority Applications (No Type Date): JP 95306143 A 19951124

Cited Patents: EP 350907; EP 500382; US 5189405

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes
EP 776147 A1 E 7 H05B-033/12

Designated States (Regional): DE FR GB
JP 9148066 A 4 H05B-033/04
US 5882761 A H01J-001.52

Abstract (Basic): EP 776147 A

The organic EL element (1) has a laminated body (6) with a pair of opposed electrodes (3 & 5) and an organic luminescent material layer (4). The layer has an organic compound and is located between the electrodes. It emits light by supplying electrons and holes to the luminescent material layer from the electrodes. The body is contained in an airtight container (10) to isolate the body from the external atmosphere. A drying substance (8) is in the container but spaced from the body to absorb moisture in the body's internal space. The drying substance comprises a solid compound which chemically absorbs the moisture and maintains its solid state even after absorbing moisture.

USE - For use in display device or light emission element for e.g. information industry.

ADVANTAGE - Maintains stable light emission property for long period of time.

Dwg.1.2

Title Terms: ORGANIC; ELECTROLUMINESCENT; ELEMENT; LAMINATE; BODY; OPPOSED; PAIR; ELECTRODE; ORGANIC; LUMINESCENT; MATERIAL; LAYER; ORGANIC; COMPOUND ; LOCATE; OPPOSED; ELECTRODE; EMIT; LIGHT; SUPPLY; ELECTRON; HOLE;LUMINESCENT; MATERIAL; LAYER

Index Terms: Additional Words: ELECTROLUMINESCENCE

Derwent Class: U14; X26

International Patent Class (Main): H01J-001.52; H05B-033.04; H05B-033.12

International Patent Class (Additional): H05B-033.04

File Segment: EPI

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2001 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05533266 **Image available**

ORGANIC ELECTROLUMINESCENT ELEMENT

PUB. NO.: **09-148066** [JP 9148066 A]

PUBLISHED: June 06, 1997 (19970606)

INVENTOR(s): KAWAMI SHIN

NAKADA HITOSHI

NAITO TAKEMI

APPLICANT(s): PIONEER ELECTRON CORP [000501] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

TOHOKU PIONEER KK [000000] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 07-306143 [JP 95306143]

FILED: November 24, 1995 (19951124)

INTL CLASS: [6] H05B-033 04

JAPIO CLASS: 43.4 (ELECTRIC POWER -- Applications); 44.9 (COMMUNICATION -- Other)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an organic electroluminescent element in which stable luminous properties are maintained for a long period, by arranging a drying means for maintaining the solid state even after moisture adsorption in an airtight container for housing a laminated body composed of an organic luminescent material and an electrode.

SOLUTION: A laminated body 6 pinched by an ITO electrode 3 and a cathode 5 to which an organic luminescent material layer 4 composed of an organic compound respectively face is formed on a glass base plate 2, and it is airtightly housed together with a drying means 8 into a glass sealed can 7 through a sealing material 9 by shutting off outside air, and an organic electroluminescent element 1 is provided. The drying means 8 is arranged in the airtight container by being separated from the laminated body 6, and it is composed of a compound for chemically adsorbing moisture and maintaining the solid state also after moisture adsorption. As the compound, alkali metal oxide, alkali earth metal oxide, sulfate, metallic halide, perchlorate, organic matters, etc., are suitable. They are easily handled in filling and cause no generation of leak current or crosstalk.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-148066

(43)公開日 平成9年(1997)6月6日

(51)Int.Cl.*

H 05 B 33/04

識別記号

庁内整理番号

F I

H 05 B 33/04

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平7-306143

(22)出願日

平成7年(1995)11月24日

審査請求 未請求 請求項の数 6 ○L (全 4 頁)

(71)出願人 000005016

バイオニア株式会社

東京都目黒区目黒1丁目4番1号

(71)出願人 000221926

東北バイオニア株式会社

山形県天童市大字久野本字日光1105番地

(72)発明者 川見 伸

埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 バイオニア株式会社総合研究所内

(72)発明者 仲田 仁

埼玉県鶴ヶ島市富士見6丁目1番1号 バイオニア株式会社総合研究所内

(74)代理人 弁理士 石川 泰男

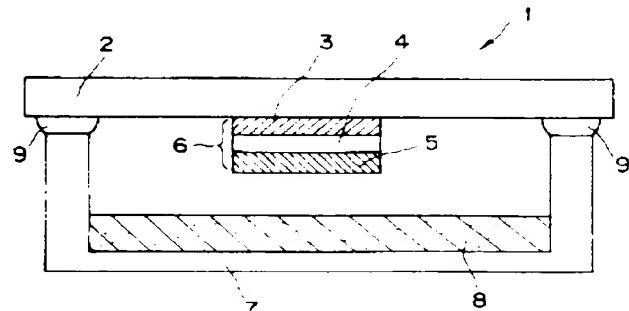
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 有機EL素子

(55)【要約】

【課題】 リーク電流やクロストークの発生を招くことがなく、しかも素子に悪影響を及ぼすことがないとともに封入の際の取扱が容易な乾燥手段を有し、長期にわたって安定した発光特性を維持する有機EL素子を提供する。

【解決手段】 化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物を用いて乾燥手段8とし、この乾燥手段8を、互いに対向する一対の電極3、5間に有機発光材料層4が挟持されてなる積層体6から隔離して気密性容器内に封入する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 有機化合物からなる有機発光材料層が互に対向する一対の電極間に挟持された構造を有する積層体と、この積層体を収納して外気を遮断する気密性容器と、この気密性容器内に前記積層体から隔離して配置された乾燥手段とを有する有機EL素子において、前記乾燥手段が化学的に水分を吸着することともに吸湿しても固体状態を維持する化合物により形成されていることを特徴とする有機EL素子。

【請求項2】 前記乾燥手段を形成する化合物がアルカリ金属酸化物またはアルカリ土類金属酸化物である請求項1記載の有機EL素子。

【請求項3】 前記乾燥手段を形成する化合物が硫酸塩である請求項1記載の有機EL素子。

【請求項4】 前記乾燥手段を形成する化合物が金属ハロゲン化物である請求項1記載の有機EL素子。

【請求項5】 前記乾燥手段を形成する化合物が過塩素酸塩である請求項1記載の有機EL素子。

【請求項6】 前記乾燥手段を形成する化合物が有機物である請求項1記載の有機EL素子。

【発明の詳細な説明】

【0.0.0.1】

【発明の属する技術分野】 本発明は、各種情報産業機器のディスプレイや発光素子等に好適に用いられる有機EL(電界発光)素子に関し、特に長期にわたって安定した発光特性を維持する有機EL素子に関する。

【0.0.0.2】

【従来の技術】 在り対向する一対の電極間に有機発光材料層が挟持され、この有機発光材料層に一方の電極から電子が注入されるとともに他方に電極から正孔が注入されることにより有機発光材料層内で電子と正孔が結合して発光する有機EL(エレクトリルミネッセンス)素子は、視認性および耐衝撃性に優れるとともに、有機発光材料層を形成する有機物の発光色が多様である等の利点を有することから、例えば各種情報産業機器用の各種ディスプレーや発光素子等に好適に用いられる。

【0.0.0.3】 一方、有機EL素子は、一定期間駆動すると、発光輝度、発光の均一性等の発光特性が初期に比べて著しく劣化するという欠点を有している。このような発光特性の劣化を招く原因の一つとしては、有機EL素子の構成部品の表面に吸着している水分や有機EL素子内に侵入した水分が、一対の電極とこれらにより挟持された有機発光材料層との積層体中に陰極表面の欠陥等から侵入して有機発光材料層と陰極との間の剥離を招き、その結果、通電しなくなることに起因して発光しない部位、すなわち黒点が発生することが知られている。

【0.0.0.4】 そこで、この黒点の発生を防止するには有機EL素子の内部の湿度を下げる必要がある。従来、素子の内部が高湿状態になるのを防ぐ手段を設けた有機EL素子としては、例えば、陽極、有機発光材

料層、陰極を積層してなる構造体の外側に、さるに乾燥剤を含有する保護層および封止層を積層した構造を有するもの(特開平7-115155(特許公報参照)、対向する一対の電極間に有機発光材料層が挟持された積層体を気密性ケース内に収納し、この積層体を隔離して気密ケース内に五酸化二チタン等のさらなる乾燥手段を配設することによる気密ケース内に積層体と乾燥手段とを中心封止してなるもの(特開平3-21144(特許公報参照))などが提案されている。

【0.0.0.5】

【発明が解決しようとする課題】 しかししながら、一対の電極間に有機発光材料層を挟持してなる構造体は、乾燥剤入りの保護層を直接に積層してなる上記の有機EL素子においては、保護層を形成することによって、一方電極からカクテックが発生し易くなり、発光特性に悪影響を及ぼすという問題がある。

【0.0.0.6】 一方、対向する一対の電極間に有機発光材料層が挟持された積層体を気密性ケース内に収納し、この積層体から隔離して気密ケース内に封止されるかなる乾燥手段を配設した構造を有する上記の有機EL素子においては、リード電流やカクテックが発生し易くなるという問題はないものの、一方で、が、大気中の水蒸気を吸収してその水に溶け(潮解)、ヒドロゲンとなり、このヒドロゲンが積層体に悪影響を及ぼす元、ヒドロゲンがかかる乾燥手段を封入する際の方法が著しく限られることがあり、実用的ではないという欠点がある。

【0.0.0.7】 本発明は、かかる事情に基いてなされたものであり、本発明の目的は、リード電流やカクテックの発生を招くことなく、有機EL素子に悪影響を及ぼすことがないとともに封入の際の取扱が容易な乾燥手段を有し、長期にわたって安定した発光特性を維持する有機EL素子を提供することにある。

【0.0.0.8】

【課題を解決するための手段】 上記の課題を解決するために、本発明の有機EL素子は、有機化合物からなる有機発光材料層があり、これと対向する一対の電極間に挟持された構造を有する積層体と、この積層体を収納して外気を遮断する気密性容器と、この気密性容器内に前記積層体から隔離して配置された乾燥手段とを有する有機EL素子において、前記乾燥手段が化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物により形成されている構成とし、特に、前記乾燥手段を形成する化合物が、アルカリ金属酸化物またはアルカリ土類金属酸化物、硫酸塩、金属ハロゲン化物、過塩素酸塩および有機物のいずれである構成とした。

【0.0.0.9】 本発明の有機EL素子は、有機化合物からなる有機発光材料層があり、これと対向する一対の電極間に挟持された構造を有する積層体と、この積層体を収納して外気を遮断する気密性容器と、この気密性容器内に前記積層体から隔離して配置された乾燥手段とを有する有機

王化素子において、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物を用いて乾燥手段とする。このような化合物を乾燥手段に用いるのは、物理的に水分を吸着する化合物は、一旦吸着した水分を高い温度で再び放出してしまうため、黒点の成長を十分に防止することができないからである。また、吸湿しても固体状態を維持する化合物を乾燥手段に用いるのは、吸湿により液化してしまう化合物であると、素子に悪影響を及ぼすとともに封入の際の取扱が容易ではない。封入方法が著しく制限されて実用的ではないからである。このように、本発明の有機王化素子では、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物を用いて乾燥手段とし、この乾燥手段を、有機化合物からなる有機発光材料層が左右に対向する一对の電極間に保持された構造を有する積層体にて隔離して気密性容器内に配置し、封止しているので、モータ電流やワットトータクの発生を招くことがない。したがって、本発明の有機王化素子においては、一定期間駆動した後も黒点の発生が確実に防止され、長期にわたって安定した発光特性が維持される。

【0.0.1.0】

【発明の実施形態】次に本発明の実施形態について、図面を参照しながら具体的に説明する。図1によるとよろに、この実施形態の有機王化素子1は、カラス基板2、TFTの電極3と有機発光材料層4と陰極5との積層体6、カラス封止缶7、乾燥手段8および封止材9により構成されている。なお、図1に示す積層体6は、TFTの電極3と有機発光材料層4と陰極5との3層構造であるが、これらの層の他に電子輸送層、正孔輸送層を有していてもよい、またこれら3層が多層であってもよい。

【0.0.1.1】さらに具体的には、カラス基板2上に、TFTの電極3、有機発光材料層4、陰極5がこの順に積層された積層体6が形成され、この積層体6にて隔離して乾燥手段8が配置され、積層体6と乾燥手段8とは、カラス基板2とカラス封止缶7とか封止材9により気密的に接着されて形成された気密性容器内に封止されている。

【0.0.1.2】そして、この気密性容器内には乾燥した不活性ガスが封入されている。この有機王化素子においては、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物により乾燥手段8が形成されている。

【0.0.1.3】乾燥手段8を形成する化合物としては、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持するものであれば、いずれも使用可能である。このような化合物としては、例えば、アリカルド金属性酸化物、アリカルド半導金属酸化物、硫酸塩、金属ハロゲン化物、過塩素酸塩、有機物が挙げられる。

【0.0.1.4】前記アリカルド金属性酸化物としては、被化ナトリウム(C₂N₂)、被化カリウム(C₂K₂)、被化マグネシウム(C₂Mg₂)が挙げられる。

【0.0.1.5】前記硫酸塩としては、硫酸ナトリウム(C₂Na₂SO₄)、硫酸カリウム(C₂K₂SO₄)、硫酸マグネシウム(C₂Mg₂SO₄)、硫酸ヨウ化ナトリウム(C₂Na₂SO₄)、硫酸チタニウム(C₂Ti₂SO₄)、硫酸ニッケル(C₂Ni₂SO₄)などが挙げられる。これらの硫酸塩は無水塩が好適に用いられる。

【0.0.1.6】前記金属ハロゲン化物としては、塩化カリウム(C₂CaCl₂)、塩化カリボネシウム(C₂N₂Cl₂)、塩化アルミニウム(C₂AlCl₃)、塩化銅(C₂CuCl₂)、塩化マグネシウム(C₂MgCl₂)、塩化ナトリウム(C₂NaCl)、塩化カルシウム(C₂CaCl₂)、臭化カリウム(C₂KBr)、臭化セレン(C₂SeBr)、臭化ナトリウム(C₂NaBr)、臭化マグネシウム(C₂MgBr₂)、臭化マグネシウム(C₂MgBr₂)などが挙げられる。これらの金属ハロゲン化物は無水塩が好適に用いられる。

【0.0.1.7】前記過塩素酸塩としては、過塩素酸ナトリウム(Ba(C₁O₄)₂)、過塩素酸マグネシウム(Mg(C₁O₄)₂)が挙げられる。これより過塩素酸塩も無水塩が好適に用いられる。

【0.0.1.8】さらに、これらの無機化合物のほか、乾燥手段8には有機物を用いることもできる。ただし、その場合も、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持するものでなければならぬ。

【0.0.1.9】乾燥手段8の封入方法としては、例えば、上記の化合物を固形化して成形体とし、この成形体をカラス封止缶7に固定する方法、上記の化合物を通気性を有する袋に入れてカラス封止缶7に固定する方法、カラス封止缶7に仕切口を設け、この仕切口の中に上記の化合物を入れる方法、さらには直窓接着法、クリア法あるいはスピンドル法等を用いてカラス封止缶7内に成膜する方法など種々の方法を採用することができる。

【0.0.2.0】このように、この有機王化素子は、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物を用いて乾燥手段8とするので、封入の際の取扱が容易であり、より簡便なることは機能的な封入方法の採用が可能である。

【0.0.2.1】

【実施例】次に本発明の実施例および比較例を示し、本発明について述べて具体的に説明する。

実施例：

酸化ナトリウム(以下、これを乾燥手段8とし、この乾燥手段8を用いて用いた)を構造、有機王化素子を構成した。なお、この乾燥手段8は接着材を用いてカラス封止缶7に固定する事によって封入した。

【0022】この有機EL素子の発光部について封入直後に50倍の拡大写真を撮影した、次に、この有機EL素子を温度85℃の条件で50時間保存した後、発光部について封入直後と同様にして拡大写真を撮影した。
【0023】これらの拡大写真を比較観察したところ、黒点（ダークスポット）の成長は殆ど見られなかった。

実施例2
前記実施例1において、酸化バリウム（BaO）に代えて酸化カルシウム（CaO）を用いて乾燥手段8としたほかは、前記実施例1と同様にして有機EL素子を作成するとともに、封入直後および温度85℃にて50時間保存した後の発光部の拡大写真を比較観察した。

【0024】その結果、黒点（ダークスポット）の成長は殆ど見られなかった。

実施例3

前記実施例1において、酸化バリウム（BaO）に代えて硫酸カルシウム（CaSO₄）を用いて乾燥手段8としたほかは、前記実施例1と同様にして有機EL素子を作成するとともに、封入直後および温度85℃にて50時間保存した後の発光部の拡大写真を比較観察した。

【0025】その結果、黒点（ダークスポット）の成長は殆ど見られなかった。

実施例4

前記実施例1において、酸化バリウム（BaO）に代えて塩化カルシウム（CaCl₂）を用いて乾燥手段8としたほかは、前記実施例1と同様にして有機EL素子を作成するとともに、封入直後および温度85℃にて50時間保存した後の発光部の拡大写真を比較観察した。

【0026】その結果、黒点（ダークスポット）の成長

は殆ど見られなかった。

比較例1

前記実施例1において、酸化バリウム（BaO）に代えてシリカゲルを用いて乾燥手段8としたほかは、前記実施例1と同様にして有機EL素子を作成するとともに、封入直後および温度85℃にて50時間保存した後の発光部の拡大写真を比較観察した。

【0027】その結果、黒点（ダークスポット）の成長が著しいことが確認された。

【0028】

【発明の効果】以上に詳述した通り、本発明は、化学的に水分を吸着するとともに吸湿しても固体状態を維持する化合物を用いて乾燥手段とするとともに、この乾燥手段を、互いに対向する二つの電極間に有機発光材料層を挟持されてなる積層体から離離して気密性容器内に封入する構成として、乾燥手段が吸湿した後も素子に悪影響を及ぼすことがないとともに封入の際の取扱が容易であり、しかもリーク電流やクロストークの発生を招かないことから、本発明の有機EL素子においては、長期にわたって安定した発光特性が維持される。

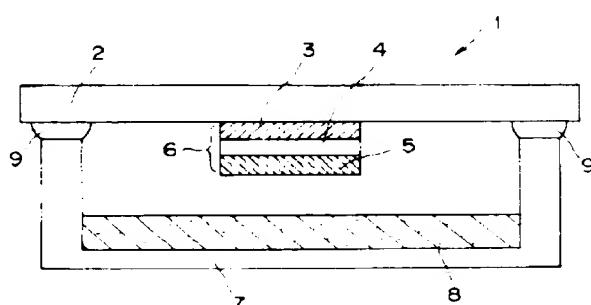
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の有機EL素子の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

- 3…ITO電極
- 4…有機発光材料層
- 5…陰極
- 6…積層体
- 7…乾燥手段

【図1】



フロントページへ戻る

(72)発明者 内藤 武実

山形県米沢市八幡原4-3146-7 東北六
才ニア株式会社米沢工場内